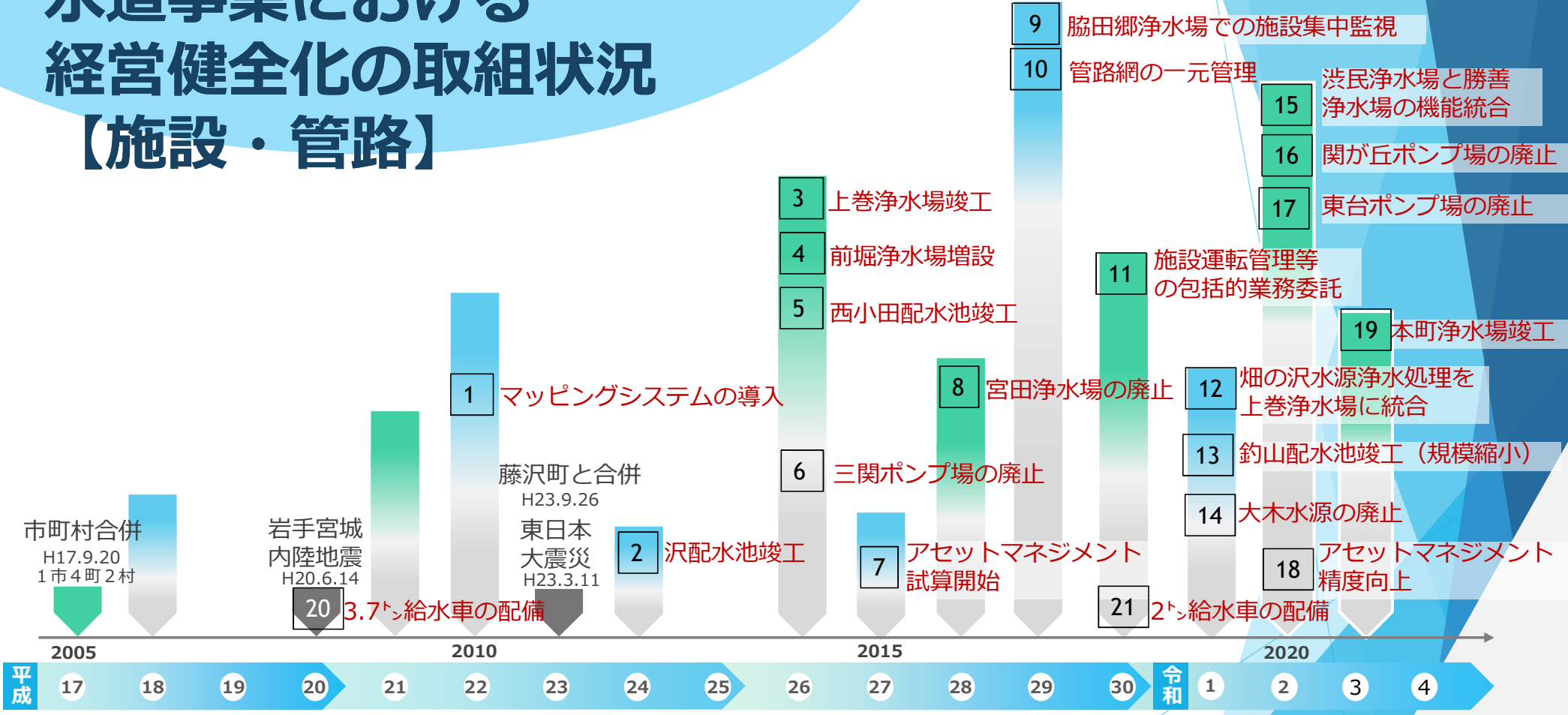
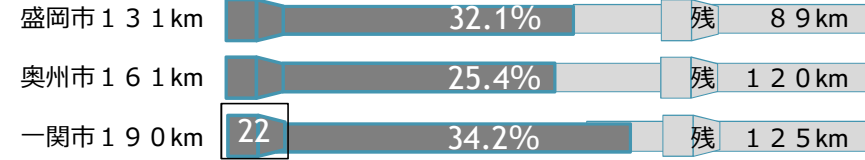


水道事業における 経営健全化の取組状況 【施設・管路】



**基幹管路
の
耐震化率**



基幹管路：導水管（水源～浄水場）・送水管（浄水場～配水池）・配水本管の総称
 耐震管：地震の際でも継ぎ目の接合部分が離脱しない構造となっている管のこと
 耐震化率：基幹管路に占める耐震適合性のある管の割合【H30年度岩手県平均24.8%】

水道事業における 経営健全化の取組状況

水道事業ビジョン（Ⅱ-5-(1) 耐震化、(2)非常用発電装置の整備）
（Ⅴ-3-(1) 水道施設の更新）に関するものを抜粋

ビジョンⅡ-5-(1)	前頁No.	主な内容・効果等
① 耐震化	22	<p>【管路の耐震化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災の教訓から病院、避難所などの重要給水施設へ耐震管の整備を進めた ・一関市の水道管の総延長2 1 3 3 km（内4 0年以上を経過した管は4 0 9 km） ・平成1 7年以降、耐震管へ布設替延長は2 3 5 km（年間平均約1 6 km）
ビジョンⅡ-5-(2)	前頁No.	主な内容・効果等
① 非常用発電装置の整備	-	<p>【停電時でも稼働できる施設の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災の教訓から停電時でも稼働できる施設の整備を計画的に進めた ・非常用発電装置の整備によりすべての施設（283施設）が停電時でも稼働できる状態（165施設は稼働に電力不要） <ul style="list-style-type: none"> → 非常用発電装置の設置数は計77台（H17以降更新・新設は44台、1台で複数施設をカバー） → 1基当たりの費用は約4,300万円
ビジョンⅤ-3-(1)	前頁No.	主な内容・効果等
① 水道施設の更新	7.18 3.8.12 4 5 13 15 6.16.17 19	<p>【施設更新と廃止、機能統合、ダウンサイジングなど】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アセットマネジメントを導入し、更新需要の見通しを把握することができた ・上巻浄水場の整備【H24～25 事業費15.5億円】（宮田浄水場の廃止、畑の沢水源の浄水機能統合） ・前堀浄水場の増築【H24～25 事業費5.8億円】 ・西小田配水池の整備【H24～25 事業費3.3億円】 ・釣山配水池の整備【H29～30 事業費4.8億円】（規模縮小2270㎡→1500㎡） ・渋民浄水場と勝善浄水場の統合 ・三関ポンプ場、関が丘ポンプ場、東台ポンプ場の廃止 ・本町浄水場の整備【R1～R2 事業費7.8億円】